記者発表資料

水資源機構

令和７年４月１６日
独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所

ダム湖周辺の施設を安全に利用していただくために
～一般利用施設等の安全利用点検の実施～

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所では、一般の方々に安全に施設を利用していただくため、ダム周辺を訪れる方の増加が見込まれるゴールデンウィークを前に、高山ダム湖（月ヶ瀬湖）周辺の一般利用施設等の安全点検を実施します。

日　　時：令和７年４月２２日（火）　１４時００分～１６時００分

点検実施者：南山城村、相楽中部消防組合消防本部、
京都府警木津警察署（高山駐在所）　（以上、参加予定）
独立行政法人水資源機構　木津川ダム総合管理所

点検箇所：別添実施計画書のとおり

※取材を希望される方はメールにて事前にお申込みの上、当日１３時５５分までに高山ダム管理所流木処理場前駐車場にお越しください。
メール宛先：jwa_kizugawa@water.go.jp
記載事項　：１．報道機関名、２．お名前、３．連絡先電話番号

発表記者クラブ：　学研都市記者クラブ

お問合わせ先　：　木津川ダム総合管理所　高山ダム管理所
所長　米澤（よねざわ）
電　話：０７４３（９４）０２０１（代表）

高山（たかやま）ダムにおける「一般利用施設等の安全利用点検」に関する実施計画書

１．点検を重点的に実施する区域

以下の施設等の安全点検を実施します。

①ダム湖進入路（貯水位変動域）

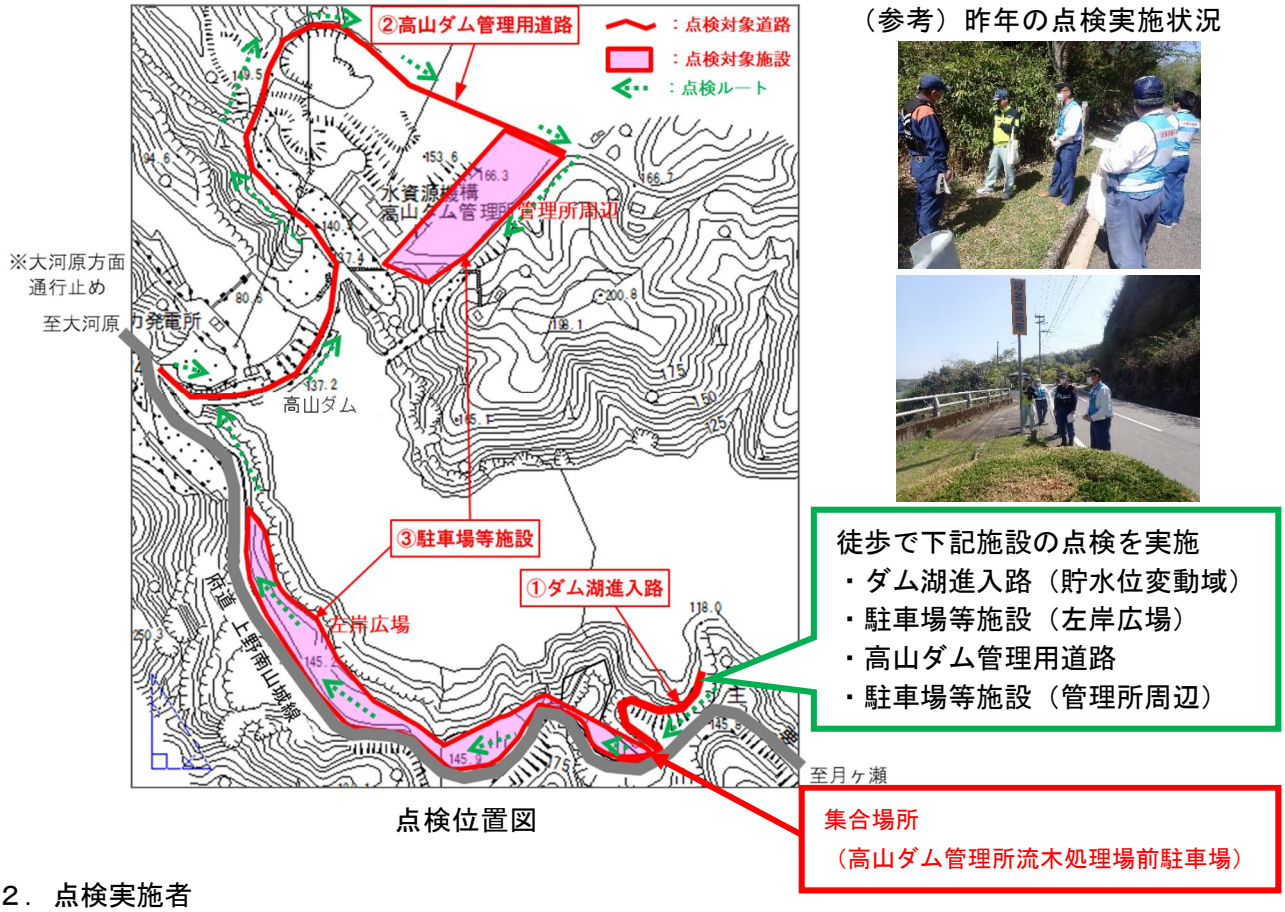
釣りやプレジャーボートなど多数の湖面利用者が訪れる場所となっているが、洪水調節時と非洪水期には水没するため一般の利用に特に注意が必要であるため、重点的に点検します。

②高山ダム管理用道路（管理所からダム堤体左岸の府道交差部までの区間）

一般者の通行及びダム見学において利用されているが、道幅が狭く特に注意を要するため、重点的に点検します。

③駐車場等施設（管理所周辺、左岸広場）

ダム見学、各種イベント等において利用されるとともに、来訪者の休憩場所になっており、利用頻度が高く、利用時間も長いため、重点的に点検します。



点検位置図

（参考）昨年の点検実施状況

２．点検実施者

◇利用者代表（予定）

南山城村、相楽中部消防組合消防本部、京都府警木津警察署（高山駐在所）

◇ダム管理者

独立行政法人水資源機構　木津川ダム総合管理所

３．点検方法

・一般の方が施設を利用される上で、危険または支障の有無について、目視または触検により実施します。

・特に、子供や高齢者などの立場・目線から点検を行います。

４．実施時期

令和７年４月２２日（火）１４時００分～１６時００分　（小雨決行）

（参考資料）

高山ダムの概要

■ダムの諸元

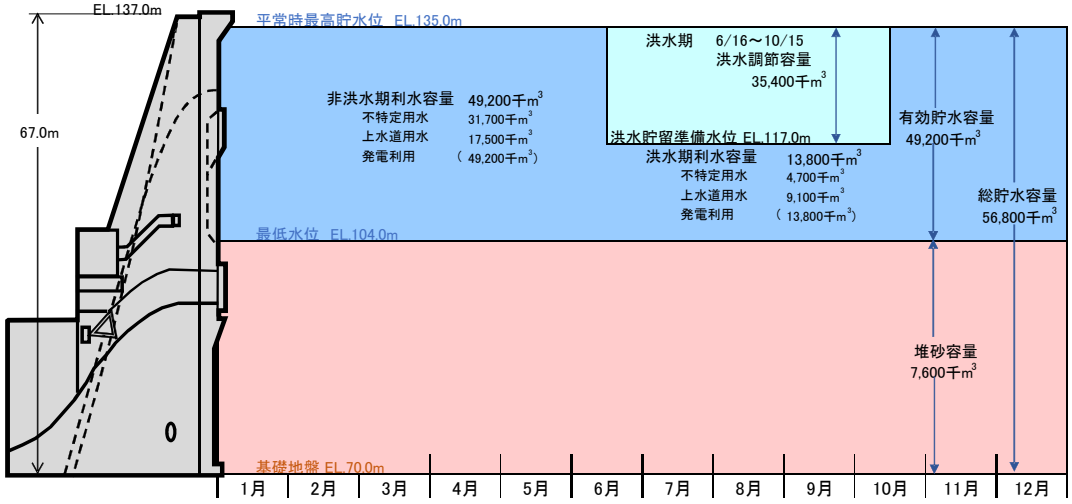
ダム型式　：　アーチ重力式コンクリートダム
堤 体 積　：　約213.9千m^3
堤　　高　：　67.0m
堤 頂 長　：　208.7m
湛水面積　：　2.6km^2
流域面積　：　615.0km^2
管理開始　：　昭和44年8月

■ダムの目的

1．洪水調節
洪水被害を軽減するため、最大1,300m^3/sから調節を開始し、最大1,800m^3/sを放流する。

2．不特定かんがい等
木津川沿岸の既成農地3,300haの既得用水として、青蓮寺ダムからの補給量とあわせて、下流大河原地点においてかんがい期に12m^3/sを確保するため、半旬平均で最大4.8m^3/s補給すると共に、下流河川の環境保全等のための流量を確保する。

3．新規利水
阪神地区の水道用水として5.0m^3/sを供給する。

4．発電
関西電力（株）が設置した高山発電所で、最大出力6,000kWの発電を行う。（最大使用水量14m^3/s）

■貯水池容量配分図